

ひ
ろ
ば
大代平成元12.5
大代公民館

六十一年間打ち続ける太鼓

―大家石清水八幡宮宮司―

下市 田辺 孝

「ほうら、お宮の太鼓が鳴るとるぞ
みんな起きろや」と、ドンドンドンドン
と暁あんを鳴りわたる快い太鼓の音で
今朝も目覚めた人もいましょう。

昭和四年以来、冬の朝は六時、春か
らは五時になると必ず本殿前に置かれ
た直径二尺の太鼓にビタリとバチを当
て続けて六十一年間、時計のように正
確に祈り続けるそれは、大家石清水八
幡宮宮司、藤田権現さんその人です。
神に奉仕される藤田権現さんの尊い
お姿に、私は益々敬愛せずにはおれま
せん。

六十一年間、宮の宮司としてそれは
大変なたゆみない努力を重ね、また神
につくすお仕事に誇りと喜びを持って
の情熱に頭がさがる思いがします。

現在八十三才におなりになっても、
かくしゃくと背筋をびんと立ててお歩

きになるお姿の中に、いつまでもいつ
までも大家石清水八幡宮をお守り続け
ていただきたいと祈るばかりでござい
ます。お身ご自愛の程お願いします。

これまでの長いご苦勞に感謝申し上
げたく一筆取らせて戴きました。

私の出合った歌



下市 立野保雄

昭和の時代に別れを告げ、平成も一
年が過ぎようとしています。

さて歌はその時代と共に歩み、その
時代を象徴するものと言われて居りま
す。私の人生そのままの永い激動の昭
和、その間幾千幾百の歌がラジオにテ
レビにカラオケと日本中を歌い流れて
いきました。誰にもふと、あの時あの
頃の歌がと思い出される事があるうか
と思つて居ります。私にも小学校三年
の時巡り合つた荒城の月の歌、終戦二
ヶ月後に収容所で聞いた再建の曲、こ
の二つの大きな思い出があります。
今も心の奥底に美しく、優しく、明
るく、そして力強くあの歌詞が、メロ
ディが感動その時のままに息づいてお
ります。又今日迄の私の人生の道標ベ

ともなつて来たものです。

終戦、そして捕虜、南昌飛行場の収
容所に旧南京の総軍の軍楽隊が中国側
の好意で慰問に来てくれました。

その時には既に軍歌などはなく、懐
かしい故郷の民謡や、童べ歌を演奏し
て頂いたものです。最後に心をこめて
演奏されたのが再建という作曲された
ばかりの曲でした。その時のドラム吹
奏楽器の力強い響きは今も忘れること
は出来ません。

敗戦直後、既に日本は再建に動き出
して居たものです。私はその時涙なが
ら日本の再建を心の中に信じました。
事実再建の歌詞は多くの人々の努力に
依つて作られて行きました。その様に
私は思つて居ります。

荒城の月は十月二十六日NHK放送
の日本の歌、故郷の歌に思い出と共に
リクエスト致しました。これには私の
貧しい幼い頃の優しい恩師の思い出が
込められて居たので、日本の風土人情
に最もふさわしいと思つてリクエスト
したものです。歌手斎藤昌子さんが歌
われましてステージの影で感慨一人に
聞いて居りました。この二曲の趣は大

大きく違いますが私にとつては人生の応援歌でありました。

歌が、歌詞が、メロディが、美しく優しく時に力強く語りかけてくれて居ります。その心を聞いてやりたいものと思つて居ります。

昭和から平成へ

—昭和の時代終る—



昭和64年1月7日

昭和天皇崩御。国民の悲しみの中に1月8日から年号は平成元年となり諸事自粛の内に明ける。

◆平成元年度、活性化に前進する

郷土の動き

1月、西部美術品展示館誕生！

(渡 敏昭氏宅)

6月、全国ホープス大会(卓球)県

予選で、大代小男、1・2位獲得

全国大会(東京・岡山)各大会出場

8月、大代分団、大田市小型ポンプ

操法大会に於て優勝、引き続き県

大会(鹿足群日原町)に於て堂々

準優勝！

8月、オペラとカンツォーネの夕八

上市出身の田中公道さん、興垂さ

ん兄弟で帰郷記念に川本町野外ステージに於て公演。

8月、生き生き町づくり(都市とふるさとを結ぶ交流会、中学校、自治会、婦人会各グループ連繫で盛大に開催、イベントに賑合う。

9月、高山登山道、山田側、飯谷側

への下刈り作業完成。

10月、高山子供神楽団が誕生、16名

10月、中学校、大田市新人卓球大会

女子団体、ダブルス共に優勝！男子

シングルス優勝！大活躍。

11月に入り、石見地区新人卓球、

男子シングルス、丹後君優勝！

10月、読書感想文コンクール大田市

最優秀に続き、島根県最優秀賞に

輝く(一年山下陽子さん「手巾」

を讀んで)

10月、石見農業畜産共進会に於て、

縄手雄氏飼育牛「むらまう」号

特選！島根県共進会へ出場。

10月、高山を拓くみんなの会発足、

大江高山の開発をめざそう。

明るいまつくり(高山開発部会を

設け、市原仁郎氏を部長に、青

写真が完成、今後は高山を拓くみ

んなの会として発足、実現を目指す

11月、明るいまつくり花一ぱい運動

で、下市田辺孝氏の花づくりが島

根県最優秀賞に、引続き全国審査

会に於て、財団法人日本花一ぱい

協会会長賞に輝く。

11月、東京石見高山会総会18名出席

現在会員約百五十人となり、大阪

石見高山会も発足準備の予定。

11月、市道四日市線全面舗装開通に

町民の喜び湧く。

健康

！今からでも遅くはない

タバコは止められる！

大田保健所

あなたは今タバコを喫っていますか

タバコの害は肺ガンだけでなく、い

ろいろなガンの原因となり、全部のガ

ンの3割までがタバコによるものだ

と語られています。又ガン以外の気管支

喘息、胃十二指腸潰瘍などにもなり

易く、百害あって一利なし。とはこ

の事です。

タバコを今止めると徐々に発ガン物

質は体の中から消え、止めるのが早い

程効果が期待できます。もうこの歳



まで喫ってしまったのだから」とあきらめていた方はありませんか。

タバコを止めようとする時は、次のような目標を立て、やめると案外成功すると思います。

(1) 禁煙日を決め、体によい事、軽い運動などして身体条件をと、のえる

(2) 一ヶ月のタバコの費用を計算し何か買いたいのものの目標を造る

(3) タバコを喫っていた週間を改め体操、スポーツ、掃除など自分が熱中できる事に取り組む

(4) タバコを止めた記念に祝を計画する

「子防に勝る治療なし」タバコ離れこそ、健康づくりの第一歩、今日からタバコを止める目標を立ててみてはいかがでしょうか(大田保健所・岩谷)

おしらせ

公民館より

東京石見高山会 小笠原恵利様

木川 一恵様

◆郷土便り、大江高山下刈りなど激励を頂き、先日金一封の外、切手多数を御寄付頂きました。

厚く御礼申し上げます。

◆ご結婚おめでとうございます。

上市 葛原達雄さん

清子さん

去る11月18日、公民館を全館結婚式の披露宴に利用頂き、苦いお二人の門出にふさわしい賑わいでした。今後も皆様のご利用を頂き度思います

大代町寿会御一同様

文化祭展示の終わった先日、皆様の手作りによる清掃器具を御寄付頂き、有難うございました。

◆民生協議会委員交替のおしらせ

氏名 担当地区

総務 長谷幸夫 植松 八反田 下谷

副総務 高崎 修 榑 柿田 川上

井谷英美 本郷 平上 下飯谷

山田 弓久 右原

田辺幸子 上市 下市 四日市

◆12月、1月年末年始行事案内

12月25日13時から クリスマス子供

大会

12月28日、31日 消防大代分団

年末警戒実施

1月1日10時から 新年挨拶交換会

申込みは27日迄

1月4日 大田市成人式

(市民センター)

1月6日 消防出初式

◆社協大代支部から

下市 田辺 孝様

社団法人日本花一ぱい協会会長賞受賞記念に金一封を

大代町婦人会様

文化祭を終えた先日金一封を社会福祉協議会へ夫々御寄付頂きました。厚く御礼申し上げます。

上市 市原和秀様

本郷 原田英夫様

榑 花田 巧様

夫々香典返しに替えて金一封の御厚志を社協大代支部へ御寄贈頂きました。厚く御礼申し上げますと共に御知らせ致します。

あとかぎ



今年もあと僅かになりました。

今年には各団体や若者グループを始め、

小学校、中学校の生徒さんに至るみんな

で町内の行事を盛り上げて頂き、明

るい町づくりが出来ました。

皆さん、よい年を迎えて下さい

都市交流

東京石見高山会総会出席

大代公民館



総勢18名、東京石見高山会総会出席の為、去る11月4日夜行バスで中国、名神、東名高遠道路を一路東へ東へと出発しました。広島を出て間もなく交通事故発生で約2時間に亘り足止め、アッとと思う間の事故で車両を巻き込み火災が発生、死者3名、渋滞数十K、改めて高遠道路事故の恐しさを痛感致しました。

翌朝、予定より遅れて日時東京着、懐かしい方々のお迎えにホッとする間もなく総会が始まりました。

鳥飼尾さん、竹内さん、山根さん等懐かしいメンバーの受付、大田市から出席の岩谷総務部長さんの大田市政の近況や郷土大代のお話も出ました。

田中 憲経会長からは現在約百五十名の会員、尚今後への活動企画、経過などが説明され、渡前会長の輪旋で大代小、中学校生徒の習字や版画などの紹介がありました。

松本さんの司会で華やかな交流会が始まった頃は約七十名の人々に入り乱

れての賑やかな情報交換会となり、今年も幾人かの新しい友達も出来ました。夜は同窓会の開催や、楠 義見さんの御案内でネオンが華麗な銀座通りの見学、フグ料理への御招待、フグのひれ酒など珍しいご馳走、大変な御負担をかけた様です。

東京のど真ん中で、一度は何百人もの大衆を集め、それぞれの料理を手際よく配膳し、サッと次の集団へと変わって行く、誠にす早い、忙しい夕方の一時の繰返し、毎日の商法には大変驚きの目を見張った次第です。

翌6日は鎌倉、熱海の観光を兼ねて帰途につきました。

源頼朝によって開かれた鎌倉は数々の歴史の町、名所です。

「静や静」と舞治められたという鶴丘八幡宮の神楽殿、銀杏の本の枝に隠れて頼朝を襲ったと言われる銀杏の大樹、数百年の歴史の跡を伺いました。

大仏のある建長寺、露座に居座る巨大な大仏は正に圧巻でした、余りにも大きくて周囲との調和もとれなく大空にそびえる姿は何か別の世界に来た様な印象さえ感じました。

国語の教科書でおなじみの長谷観音その麓一帯には幾百幾千もの子供の姿を刻んだ地蔵尊で埋め尽くされています。母の悲願をそのまゝに現されている様で深い感銘を受けました。

夜は熱海の温泉地帯に一泊、有名な賈一お宮の像を見んものと皆で出かけました。この一帯は一流のホテルが林立し美しい熱海の海岸の夜景をみんな満喫しました。

箱根の閑所を訪れた頃は折悪しく小雨となり、美しい芦の湖々畔には観光用のフェリーが浮かんではいましたが山の頂きに見える富士は雲に覆われて傘を差し乍ら、昔日の箱根をしのびました。

天候の回復と共に御殿場から見える富士山にやっと情景を取り戻しましたやはり富士はその容姿から、高さから日本一の偉大な山でした。

大家に帰着したのは十一時、夜から夜へと、まる三日の旅はさすがに疲れしました。

詳しくは公民館入口に写真を掲示致しますので是非御覧下さい。